

(第2号様式)

美 工 第 2551 号
令和8年 3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立美里工業高等学校
校長 真喜屋 強史
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和7年7月16日(水) 16:10~17:00	美里工業高校 大会議室(管理棟2階)	校長、教頭(2)、事務長、教務主任、進路指導部主任、評議員(4)、合計10名
第2回	令和7年12月25日(水) 16:10~17:00	美里工業高校 大会議室(管理棟2階)	校長、教頭(2)、事務長、教務主任、進路指導部主任、生徒支援部主任、評議員(5)、合計12名
第3回	令和8年3月18日(水) 16:10~17:00	美里工業高校 大会議室(管理棟2階)	校長、教頭(2)、事務長、教務主任、進路指導部主任、生徒支援部主任、評議員(5)、合計12名

2 学校評議員に求めた事項

- ① 学校経営方針についての意見
- ② 教務部、進路指導部、生徒支援部の総括等に関する意見
- ③ 生徒の学習状況、課外活動についての意見
- ④ 各学科・各種大会等の取り組み等についての意見
- ⑤ その他、本校教育活動等についての意見

3 学校評議員の意見

- ① 学校評価アンケート(生徒)「進路指導」「キャリア教育」の否定的な理由はどのように判断したのか。
- ② 生徒指導「深夜徘徊の指導者」と「飲酒・喫煙指導者」はどのように把握しているのか。
- ③ 生徒指導は学校として早めの指導と厳しい指導が必要である。また、指導により改善は図られているか。
- ④ 不本意入学者等への指導はおこなっているのか。指導(対応)はどのような内容か。
- ⑤ 進路指導・生徒支援の総括評価「B」となっているが、全体的によくなっているので評価「A」でもよい。

4 学校運営に反映した事項

- ① 生徒指導に対しては、年度途中から対応しており、新年度に向けてさらに指導体制を整えている。
- ② 学科間の交流として、生徒同士の交流は学校行事のみだが、職員間の技術指導・交流を行うことで、生徒のものづくりに反映させている。
- ③ 地域連携(自治会)の中で、昨年度は調理科と連携した調理実習を行い、今年度は設備工業科によるトイレの取り付け等、協働的な取り組みを行うことができた。

5 課題その他

- ① 学校評価アンケート(学校関係者)における質問の意図が伝わりにくい。
- ② 学校評価アンケート(生徒)において「生徒が相談できる先生がいる」に否定的な数が多く感じる。生徒指導との関連性はあるのか。
- ③ 地域連携(卒業作品展)において、生徒のプレゼン力やコミュニケーション力が低く感じた。技術力だけでなく伝える力も育ててほしい(対応があまりよくなかった)。
- ④ 生徒指導・進路指導は全教職員で取り組むことが重要である。授業のはじめ・終わりなど、共通理解・共通した指導による取り組みなど学習規律が大切である。